

匹瑛市食育推進計画 数値目標の達成状況について

基本施策	項目	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)	途中経過 (平成30年1月現在)	担当課	内容・備考
1 地産地消の推進	食生活において、「地元産や旬の食材を取り入れた料理をつくる」ことを実行している市民の割合(※)	31.00%	35.00%		産業振興課	
	地元農水産物を使った料理レシピの提供	1回/年	5回/年	1回/年	産業振興課 関係各課	保健推進委員会(農業まつり) 「地元食材を使ったメニューの試食提供」
	給食施設での地元農水産物の利用促進	32品目/年	35品目/年	32品目/年	福祉課 学校教育課 市民病院	学校給食センター 30品目(別紙参照) 保育所 1品目(米) 市民病院 1品目(米)
	家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる市民の割合(※)	25.50%	40.00%		産業振興課	
2 家庭・地域における食育の推進	食育に興味を持っている市民の割合(「関心がある+どちらかといえば関心がある」)	61.10%	90.00%		産業振興課 学校教育課 健康管理課	
	食べ残しや廃棄を減らす努力をしている市民の割合(※)	42.30%	50.00%		環境生活課 産業振興課	
3 学校等における食育の推進	農業体験や料理教室など、食育のテーマを取り入れた授業・学習	各校4回/年	各校6回/年	各校4回/年	学校教育課	
4 食文化や郷土料理の伝承	郷土料理や地元農水産物を使った料理教室の開催	9回/年	12回/年	10回/年	産業振興課 生涯学習課	産業振興課1回(味噌づくり1回予定) 生涯学習室5回(太巻き寿司づくり2回、そうさフロンティア学寮3回) 公民館4回(太巻き寿司づくり初級・中級、オトコの料理教室、公民館まつり)
	匹瑛市の郷土料理や特産品を「知っている」市民の割合(※)	各品 21~72%	全ての品を 40%以上にする		産業振興課	
	匹瑛市では、食の文化や伝統、季節性などを大事にしていると思う市民の割合(※)	31.80%	増加		産業振興課	
5 「食」と健康に関する知識の普及	自分の食事が栄養バランスに偏りがあると不安に思っている市民の割合(※)	30.50%	減少		産業振興課 健康管理課	
	食の安全性に不安を感じている市民の割合(「不安を感じている+多少は不安を感じている」)(※)	68.70%	減少		産業振興課	
	朝食で副菜を食べる市民の割合(※)	43.90% (成人) 33.90% (小中学生)	50.00% (成人) 40.00% (小中学生)		産業振興課 学校教育課 健康管理課	
	「食事バランスガイドの見方を知っている」市民の割合(※)	26.80%	増加		産業振興課 健康管理課	

※網掛け部分は、食育推進計画策定の際にアンケート調査を行う項目であるため、経過の数値はなし